

仕事と論語と蕎麦打ちが大好きな月本康寅がお届けする

たんぽぽ通信

◆集客・営業・広告・販促・マーケに役立つビジネスコラム 2017年7月2週号

■集客・営業・広告・販促に役立つ心理マーケティング

■『古代ペルシャの皇帝に仕えていた使者』

「あなたにだけ言うけど、あの人はとても評判が悪いのよ。」
と、しょっちゅう私に話す年配の女性がいます。仮にNさんとしましょう。
私はNさんの話を聞くたびに古代ペルシャの皇帝に仕えていた使者のことを思い出します。
使者は戦地の状況をいち早く皇帝に伝える役目を持っています。戦局が自軍に有利であるという知らせを持ってくる使者は皇帝に大いに喜ばれて、歓待されます。しかし、戦局が不利である、あるいは敗戦の知らせを持ってきた使者はその命さえ奪われたのだそうです。
(参照：影響力の武器 ロバート・D・チャルディーニ著)

戦局と使者の間にはなんの因果関係もありますが、良い知らせであれ悪い知らせであれ、その「情報」と「情報をもたらした人」には好意や嫌悪感が結びつけられます。

同僚や知人がいつも

「今日は悲惨な目に遭ってさ・・・」「今日は最悪だよ。聞いてくれよ・・・」

「今日は身体がダルよ。風邪かなオレ・・・」と言って毎日毎日現れたら、
なんとなく近寄りたくないですね。

その反対に

「今日はツイてるぞ！うれしい～」「今日は朝から良いことがあってさ・・・」

「今日も快調、絶好調～」と言って毎日あなたの前に現れる同僚や知人の顔を見るとなんとなく元気がでるし、幸運がこちらにも伝わってきそうな気がしませんか。
こういう会話や言葉は「自分では気づかないクセ」なのですが、人は「良い知らせ」を持ってくる人に好意を抱きます。**あなたが普段使っている言葉とあなた自身のイメージはつながります。**
マイナスな言葉を口にしていて自分に気がついたら、古代ペルシャの皇帝に仕えていた使者のことを思い出しましょう。



●本記事は契約のうえ、ビジネス心理学講師・酒井とし夫さんが寄稿しています。



私の
約束

リフォームの提案は、お任せください！
知識と智恵と豊富な経験で、必ずあなたの悩みを
ズバリ 解決します。

月本建設（株）代表取締役 月本康寅
電話/086-275-0676
FAX/086-275-5267
メール tsukimoto-cop@wind.ocn.ne.jp

4つの資格のプロ
だから安心です！
1級建築士
1級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士
宅地建物取引士

ホームページ

月本建設

検索

「頼んで良かった」(´▽`)と言われる会社です！